



# 常山の ように

～ともに遊び ともに学び ともに育つ～

令和6年2月22日発行



## 次のステージに向けて

…忘れられない歌がそこにある 手と手をつないで口ずさむ  
山も風も海の色も ここは ふるさと

…助け合える友との思い出を いつまでも大切にしたい  
進む道も夢の地図も それは ふるさと

小山薫堂：作詞「ふるさと」より



子どもたちが登校した賑やかな校内に、しっとりとした旋律が流れる。「きれいな曲…」初めて聞いた1年生がつぶやく。1月の「北風小僧の寒太郎」に代わって、今月の歌は「ふるさと」。ちょっと難しい歌詞ですが、子どもたちの心に響くものがあるようです。

2月、私は毎日、朝の放送や教室からの子どもたちの歌声を聞きながら、1年間がんばってきた子どもたちの姿を思い出しています。その歌詞は、今の学年を締めくくり、新しい学年に向かって飛び立とうとしている子どもたちの姿と重なります。小学校生活で学んだこと、体験したこと、見たこと、聞いたこと、出会った人…全てが子どもたちの未来を支える「ふるさと」になりますように。



## 6年生スタートプログラム



10月から始まった「スタートプログラム」。中学校生活を体験し、安心して入学できるようになるためだけではなく、先輩の姿を見て、自分の学校生活を振り返るきっかけになります。

自主的に立ち上げた風紀委員が「身だしなみを整えよう」「帽子をかぶろう」と呼び掛けたり、「みんなが笑顔になれる学校」にと6年生が全クラスと遊ぶ「6年とエンジョイスクールタイム」を企画したりと下学年の手本となるよう、日々発信し続けています。



## 新1年生体験入学



2月15日に行われた「新1年生体験入学」。新1年生が、小学校生活を体験して、安心して入学できるようになるためだけではなく、園児との関わりをとおして、もうすぐお兄さんお姉さんになる1年生や最上学年になる5年生も大きく成長するきっかけになります。

そっと手をつないだり、目線を合わせたりする姿は、上学年になるやさしさと自信にあふれていました。

## 未来参観日



子どもたちは、異学年との交流をとおして成長します。それは、入学時だけではありません。本校ではこの時期「未来参観日」を行っています。一つ上の学年の授業を体験・参観することで、新学年へのイメージをもち安心して進級できるようになるだけではなく、先輩へのあこがれを抱くことや、上級生としての誇りや自覚をもつことにもつながります。

たくさんよそやぎもん思ったこと発表していて、わたしも4年生になったらまねしてみたなと思ったし、すごかったです。

3年生の自主勉強ノートより

## 新しい学年への夢と希望を抱いて

